



コツコツ とことん

大仙市立太田中学校
令和3年6月3日
NO. 27



うららかに たくましく ~ 耕し 萌えたち みのらせ さきみだる~

「教室は間違える場」 「誤答歓迎・失敗OK」

6月3日(水)に、南教育事務所、大仙市教育委員会から指導主事の先生をお招きして1年A組の英語の研究授業を行いました。太田南、太田北小学校からも2名の先生が参観してくださり、子どもたちの授業に臨む姿勢や中学生としての成長ぶりに目を細めていました。



苑子先生、井合先生、ゼイン先生の支援を受け、「これまでに勉強したことを使って、自分のことが相手によく伝わるように工夫しながら自己紹介する」ことをねらいとする授業でした。先生方の巧みなコーディネートとゼイン先生の友人のビデオメッセージを視聴したり、全員に配布されているタブレットで映像を撮影したりするなど視覚からの情報も生かし、互いに質問したり答えたりしながら、また、よりよい表現となるように修正しながら活発なコミュニケーション活動が展開されました。とても楽しそうな姿が印象的でした。

「一人一人が活躍する場や認められる場、他と関わる場、見方・考え方を働かせる場」があり、意欲的で活発に学び合い、学びを深める姿が見られましたし、「分かった、できた」を実感していました。まさに、今年度から完全実施される新学習指導要領で求められている「主体的・対話的で深い学び」に迫る授業でした。今求められているのは、正解を出すよりも正解にたどり着くまでの過程、学び方を学ぶ学習に重点が置かれています。その趣旨が生かされていましたし、学び合う子どもたちのたくさんのよさも目にすることができました。

参観された指導主事の先生からも子どもたちに対して「**素直でまじめ、目が生き生きとして、学ぼうとする姿勢も立派な子どもたちですね。**」とお褒めの言葉と今後の授業の在り方への指導をいただきました。その指導を英語科のみならず全教科で生かしながら太中生の総合的学力の向上に努めていこうとする気持ちをより強くした1日です。

私も各学級の授業を毎日参観して、「**子どもたちが真剣に課題に向き合えること、自然に話合いや助け合いができる**」ことを実感していますが、これは現代社会においても大切にされる課題対応能力や人間関係形成能力につながることです。まさに授業中のキャリア教育とも言えます。

しかし、課題も感じています。その第一は、**失敗を恐れずに発表すること**です(「間違ったら、失敗したら」の気持ちからでしょうか?)話し合った内容や考えを個人内、グループ内で完結させてしまい、**全体に向けて発信することに躊躇していること**。また、単語の羅列や最後まで言わなくても、ある程度相手の言いたいことが分かってしまい、**最後まで筋道を立ててきちんと伝えるところまではまだ距離があること**。

自分の考えを堂々と発信すること、根拠を明確にして最後まで伝えることや論理的に考え表現することは、**コミュニケーション能力、自己表現力として今の時代に求められる力、将来に必要な力**です。

そのような力を育てていくよう、『**教室は間違える場**』『**誤答歓迎・失敗OK**』を意識化させ指導してまいります。表現力やコミュニケーション能力は学校のみならず、地域生活でも家庭でも伸ばせる力でもあります。「あうんの呼吸」「目は口ほどにものを言う」ということでもあります。そのような力を伸ばすため、御家庭でもきちんと最後まで話をさせていただければ幸いです。

